

【科目シラバス案】

科目名 : フィールドワークの基礎と実践

英文科目名 : The basics and practice of the fieldwork

単位認定者 : 西村 貴之 金沢星稜 人間科学部スポーツ学科 講師

ゲストスピーカー : 金沢大学名誉教授 鹿野 勝彦 (文化人類学)

単位数 : 2 単位

定数 : 20 名

開講期間 : 4月10日(金)~7月31日(金) 講義時間 金曜日 19:10~20:40

講義 14回、フィールドワーク(現地調査) 2回 ※土曜日に実施(日帰り)

開講場所 : 石川四校記念文化交流館2階多目的利用室4、フィールドワーク先

成績評価 : 出席(講義・フィールドワーク)、学習意欲・態度、レポート、最終プレゼンテーション

■学生の学習目標

- ・資料及びデータの収集・記録・整理・分析などフィールドワークの前提となる諸基本技法を習得する。
- ・習得した技法をもとに実際にフィールドワークを実施し、定着を目指す。
- ・グループワーク、現地での聞き取り、プレゼンテーション等の実施を通じて、地域社会で求められるコミュニケーション能力の向上を目指す。

■授業の内容

本科目は、地域課題解決人材の養成の前段階として、実際の現場(フィールド)に出て、活動していく上で必須となる現地調査(フィールドワーク)の考え方と基本技術を身に付け、その実践を行う。そして、本科目受講後、身につけた力を活かして、地域社会をフィールドとする諸活動での学びを通じ、地域社会に貢献できる人材の育成につなげていくことを目標としている。

■学都いしかわ課題解決型グローバル人材育成プログラムでの位置付け

: ステップ1(基礎) 基礎スキル 趣旨: フィールドワークの基本スキルの獲得

「課題解決型グローバル人材」に求められる5つの能力である、発見力、分析力、展開力、行動力、国際力のうち、特に発見力、分析力の獲得に主眼をおく。能力獲得の評価についてはルーブリックによる評価を行う。

■授業スケジュール

- 第1回(4/10) ガイダンス
- 第2回(4/17) ガイダンス、フィールドワークという方法の特徴(人文社会科学の場合を中心に)
- 第3回(4/24) フィールドワークのための準備①(文献、資料の収集と整理、分析について)
- 第4回(5/8) フィールドワークのための準備②(対象地域についての概説と文献等の整理、分析の実践)
- 第5回(5/15) フィールドワークのための準備③(上記についてのまとめ、発表)
- 第6回(5/22) フィールドワークの技法①(データ収集と記録① 聞き取りと観察)
- 第7回(5/29) フィールドワークの技法②(データ収集と記録② 映像、音声の記録について)
- 第8回(6/5) フィールドワークの技法③(グループワーク: 聞き取りの実践)
- 第9回(6/12) フィールドワークの技法④(データ整理① カード、まとめ)
- 第10回(6/19) フィールドワークにおける諸問題(情報管理、リスク管理について)
- 第11回(6/27) ※ フィールドワークでの実践 第1回
- 第12回(7/3) フィールドワーク(第1回)まとめ(グループワーク: 観察、聞き取りデータの整理)
- 第13回(7/11) ※ フィールドワークでの実践 第2回
- 第14回(7/17) フィールドワーク(第2回)まとめ(グループワーク: 観察、聞き取りデータの整理)
- 第15回(7/24) フィールドワーク(第2回)まとめ、最終プレゼンテーション

※第11回、第13回はフィールドワークとして土曜日終日にて実施【フィールドについては調整中】